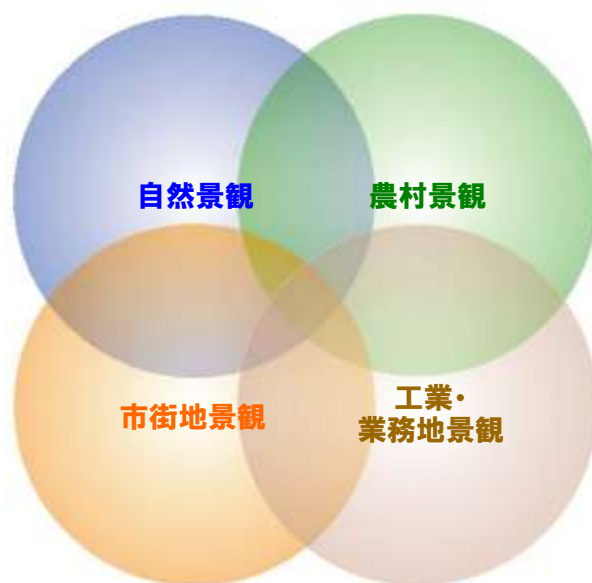


第2章 景観特性

広大な市域を持つ本市は、西の奥羽山脈、東の北上高地の広大な山並みやその中央を南北に流れる雄大な北上川に代表される豊かな「自然景観」、北上川を中心に広がる田園地帯や胆沢の散居集落などの「農村景観」、そして、こうした景観に包まれながら人々が暮らし、働く、「市街地景観」や「工業・業務地景観」などの特徴的な景観要素が存在します。

そして、これらの要素が互いに重なりあい、融和して奥州市の景観を構成しています。

[景観構成要素]



[奥州市の景観特性]

「西の奥羽山脈、東の北上高地に包まれ、中央を南北に北上川が流れる自然のなかに、市街地や集落などの風景が重なり合い、融和した景観を織りなしている」



奥州市の景観を構成する代表的な要素を、「自然景観」「農村景観」「市街地景観」「工業・業務地景観」の4つに分類し、それぞれの景観特性を整理します。

1 自然景観

〔景観特性〕

奥羽山脈や北上高地などの山並みは、良好な眺望が得られるとともに、市街地からも望むことができるなど本市を印象づける重要な景観要素で、古くから変わらず人々の生活を見守ってきたものです。

また、南北に縦断して流れる北上川は、多様な生物の生息場所となっているとともに、その雄大な流れが周辺の山並み景観と一体となって、本市の特徴的な景観を形成しています。

そして、こうした大きな自然景観に囲まれるように、農村景観や市街地の水と緑の景観が広がり、本市の豊かな自然景観を形成しています。



2 農村景観

〔景観特性〕

本市の農村景観は、胆沢散居集落や、北上川周辺の平地部及び江刺区の丘陵地に広がる農村景観等により構成されています。

胆沢川の扇状地に広がる農村には、散居集落が形成されています。冬期の北風を和らげるために設置されたエグネ、薪を重ねたキヅマが、この地域を特徴づけています。

北上川沿いに広がる平地部には、田園が広がり、四季折々の農村景観が見られます。

江刺区の丘陵地には農地や住居が点在する農村集落が見られ、棚田などが里山の風景を醸し出しています。

こうした農村景観の中に、歴史資源が数多く点在しています。なかでも、前沢区の白鳥館遺跡しろとりたてや衣川区の長者ヶ原廃寺跡ちようじゃがはらいじあと史跡の地域は、「奥州市平泉文化揺籃ようらんの地景観計画」により、農村景観、歴史文化景観、自然景観が一体となった景観まちづくりが進められてきました。



江刺区丘陵地農村集落・棚田



胆沢散居集落



角塚古墳周辺



エグネに囲まれた農家住宅



かんざん しろとりたて 関山から見た白鳥館遺跡



長者ヶ原廃寺跡

3 市街地景観

【景観特性】

本市の市街地景観は、水沢区、江刺区、前沢区の市街地を中心に形成されています。周囲に高層建築物が少なく、奥羽山脈等の山並みを望むことができます。

景観形成上重要な住宅地等については、地区計画や建築協定等により景観まちづくりを進めており、潤いと安らぎの暮らしの景観を形成しています。また、こうした地区以外の住宅地においても、地域の主体的な活動により、良好な暮らしの景観が形成されています。

水沢区の大畑^{おおばたけ}地区には、武家屋敷等の歴史的な建造物が今なお残り、その周辺には板塀で囲まれた風情ある閑静な住宅街が形成されています。

江刺区の岩谷堂地区は、北上川の舟運で栄えたまちであり、明治後期から昭和初期にかけて建築された歴史的な土蔵が今なお数多く残されており、蔵町モールなど蔵を活かしたまちづくりやまちなみ景観づくりが進められています。

本市の市街地は、周囲の豊かな自然に包まれながら、市民の暮らしの場として自然の恵みと便利さの両方を享受できるという強みを持っています。



水沢駅通り商店街



イオン前沢店周辺



江刺区川原町
かわらまち



前沢区七日町



水沢区マイアネタウン地区



江刺区蔵町モール

4 工業・業務地景観

〔景観特性〕

本市には、水沢工業団地、江刺フロンティアパーク、江刺中核工業団地、前沢インター工業団地など、多くの工業団地が立地しており、本市の工業振興をリードしています。工業団地内は緩衝緑地や団地内緑地等により、緑豊かな景観が形成されており、また、道路や工場敷地も整然と配置され、工業団地にふさわしい景観を形成しています。

水沢区の羽田^{はだ}地区は、歴史ある南部鉄器（水沢鋳物）の生産拠点として伝統産業を継承している地区であり、伝統産業集積地としての特徴ある景観を形成しています。

また、各区総合支所を中心とした周辺地区においては、公共施設を中心として業務地景観が形成されています。



5 類型別の景観特性

先に整理したとおり、奥州市の景観は様々な要素が重なり合い、一体となって形成されています。

本市の景観をその広がりやつながりなどの類型に区分すると、大きく「面景観」「軸景観」「点景観」の3つに区分することができます。

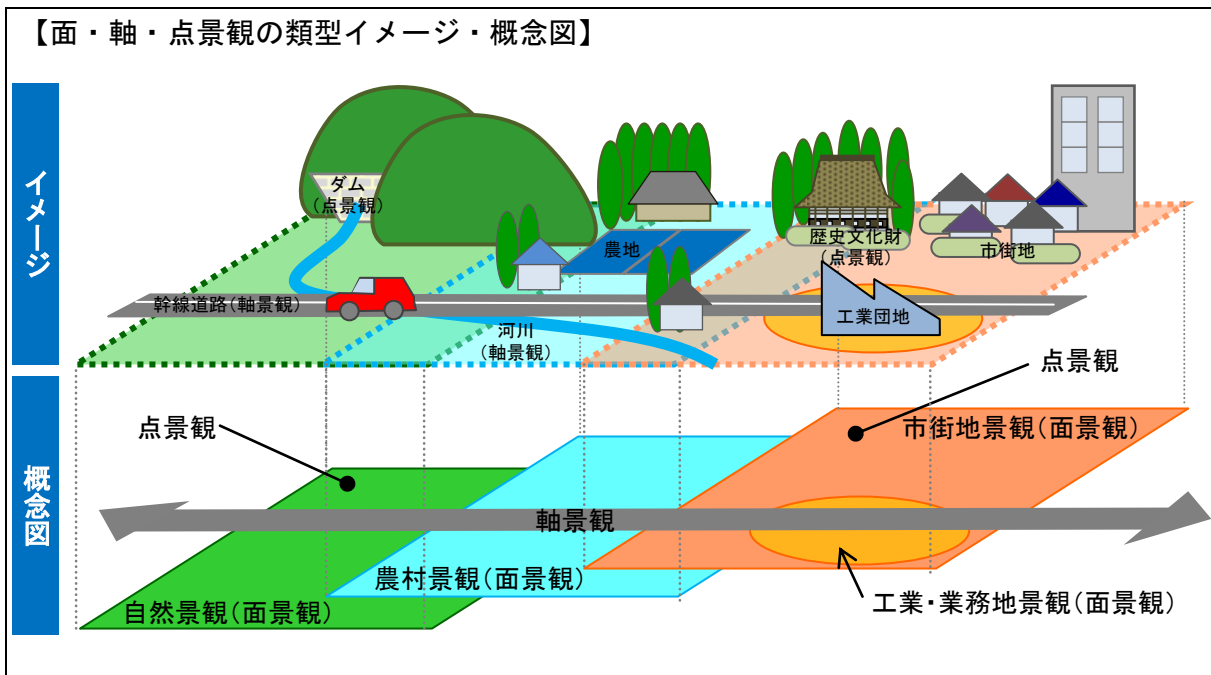
「面景観」は、森林、田園、市街地等に見られるような、領域的な広がりを持つ景観で、それぞれが特徴的な景観を形成していますが、独立しているわけではなく、互いに重なり合い、影響を与えあう間柄にあります。

「軸景観」は、北上川に代表される河川軸景観、東北自動車道や国道4号、東北新幹線に代表される交通軸に区分されます。この軸景観は、それ自体が景観を形成する重要なものですが、自然景観や農村景観、市街地景観を線的に縦横断するもので、面景観と深い関係にあり、全線にわたって統一された景観を形成するものではなく、それぞれの面景観の景観特性に調和した景観形成を図る必要があるものです。

「点景観」は、面景観、軸景観の中に点在する、歴史文化的な建築物や公園等の景観資源で、各地区の景観特性を特徴づけるものです。

地区同士の重なりやつながりを考慮し、景観形成の方向を設定するため、この類型についても着目する必要があります。

- 面景観 : 森林、田園、市街地 等
- 軸景観 : 北上川、東北自動車道、国道4号、幹線道路、東北新幹線、東北本線、中小河川、水路 等
- 点景観 : 歴史文化資源、点在する様々な景観資源 等



[類型別の景観特性]

類型	景観区分	特性		
軸景観	自然景観	交通軸景観	道路は東北自動車道、国道4号、主要幹線道路等があり、鉄道では東北新幹線、東北本線が本市を南北に縦断しています。これらの交通軸景観は、自然景観やまちなみ景観と一体となり、本市の主要な景観要素となっています。	
		河川軸景観	本市には、雄大な流れの北上川を中心に、胆沢川、衣川等の大小の河川や水路が流れ、古くから舟運や農業用水等により人々の生活に密着した、豊かな水辺景観を織り成しています。これらの水辺景観は本市の特徴的な景観であり、広く市民に親しまれているものです。	
		森林景観	栗駒国立公園を含む自然豊かな地域であり、四季折々の自然景観を望むことができます。 森林地区からは、平地部に広がる農村景観や市街地景観を望むことができます。	
	農村景観	丘陵部 田園景観	丘陵地に農地や住居が点在する農村集落が見られ、棚田などが里山の風景を醸し出しています。	
		扇状地田園 景観	胆沢川の扇状地に広がる田園に、散居集落が形成され、エグネ、キヅマが、この地域を特徴づけています。	
		平地部 田園景観	北上川沿いに広がる平地部には、田園が広がっており、四季折々の農村景観が見られます。	
	面景観	農村景観	平泉文化遺産 景観	農村景観と一体となって、白鳥笛遺跡 <small>しろとりたていせき</small> や長者ヶ原廃寺跡等の歴史資源が数多く点在しています。 この地区は、「奥州市平泉文化揺籃 <small>ようらん</small> の地景観計画」により、景観まちづくりが進められてきました。
			胆沢城跡景観	胆沢城 <small>えんりやく</small> は延暦21年(802)に坂上田村麻呂 <small>さかのうえのたむらもろ</small> が築いた当時の役所にあたるもので、対蝦夷への最大の拠点でした。大正11年に国指定の史跡となっており、発掘調査が進められるなど、本市の貴重な歴史文化資源です。
			水沢・江刺・ 前沢市街地 景観	各区の中心的な市街地であり、市街地からは奥羽山脈や北上高地等の自然景観を望むことができ、豊かな自然と生活の便利さの両方を享受できます。
	市街地景観	歴史文化景観	水沢・江刺 歴史景観	水沢区の大畑地区は、武家屋敷等の歴史的な建造物を中心に板塀で囲まれた風情ある閑静な住宅街が形成されています。 江刺区の岩谷堂地区は、明治後期から昭和初期にかけて建築された土蔵が今なお数多く残されており、蔵を活かしたまちづくりが進められています。
工業・業務地 景観			工業団地内は緩衝緑地や団地内緑地等により、緑豊かな景観が形成されており、また、道路や工場敷地も整然と配置され、工業団地にふさわしい景観を形成しています。 羽田地区は、歴史ある南部鉄器の伝統産業集積地としての特徴ある景観を形成しています。 各区総合支所を中心とした周辺地区においては、業務地の景観が形成されています。	

次ページに、類型別景観特性図を示します。

□ 類型別景観特性図

